

## 経営者報酬と取締役会の経営監視機能についての検証

坂和秀晃・渡辺直樹

### 〈要 旨〉

本稿では、1991年から1995年の日本の製造業企業522社の役員賞与比率の決定要因を検証する。先行研究では、1990年代の日本の企業統治メカニズムが経営者に適切なインセンティブ報酬を付与するという形で機能していたかどうかは明らかでない。本稿では、経営者へのインセンティブ報酬メカニズムとして、役員賞与比率に注目し実証分析を行う。実証分析の結果、以下の3点が明らかになった。第1に、業績の高い企業の経営者ほど、インセンティブ報酬としての役員賞与比率が高い。第2に、社長会に属する系列企業では、インセンティブ報酬としての役員賞与の比率が低かった。第3に、銀行派遣役員がいる企業でも、役員賞与のインセンティブ報酬比率は低かった。これらの結果は、1990年代の日本の企業統治メカニズムの下では、役員賞与の経営者に対するインセンティブ報酬の役割は、系列企業、銀行派遣役員の経営者に対する直接の監視機能に代替されていたため、インセンティブ付与の必要性が低かったと解釈することができる。

© Japan Society of Monetary Economics 2009